



# 空き家活用しカフェ

## 美浜西小6年 地域交流に一役



子どもの面倒を見る  
児童12日、美浜町  
早瀬

美浜西小の6年生による空き家を活用した1日限定カフェが12日、美浜町早瀬の空き家で開かれた。会場には多くの親子連れが訪れ、児童は子どもの面倒をとりながら母親と会話したりしながら地域の交流に一役買った。子どもたちは以前NIEの授業で、町内には多

くの空き家があるということを学び、これまで町内の空き家を活用してどのような取り組みができるか考えてきた。今回は敦賀市在住の近藤嘉宏さん(71)が所有する空き家を使用した。近藤さんは「私が生まれ育った思い出の家なので壊すこともできず困っていたところだった。地域のために役立ててうれしい」と歓迎していた。

この日は町内の親子連れ10組が訪れた。母親たちにはコーヒーやお菓子などを提供して会話を楽しんでもらう間、児童は子どもの遊び相手になったり、号泣する子どもを必死であやしたりと子守に奮闘していた。福井新聞社の徳島泰彦NIEコーディネーターは「NIEの授業で子どもたちが話したことが実際の取り組みとして形となったのはこれまでに無かったのでは。良い経験につながると思う」と話していた。

1歳の長男と訪れた畑悠さん(27)は「普段小学生に遊んでもらうことはあまりないので、子どもにとっても良い刺激になったと思う。私もゆっくりにできて楽しかった」と満足していた。児童の猿橋菜依さんは「空き家について学ぶ良い機会だった。訪れた皆さんに喜んでもらえてとてもうれしかった」と話していた。

(西出昂平)